

第2回垂井町現庁舎敷地等活用のあり方検討委員会 議事録

日 時	平成30年10月5日(金) 15時00分～16時55分
場 所	垂井町役場3階 大会議室
出席委員	竹内 治彦 委員長 永澤 幸男 副委員長 長谷川 隆司 委員 木下 清 委員 桑原 良樹 委員 沢島 武徳 委員 衣斐 みどり 委員 渡辺 勉 委員 飯沼 奈美 委員 木村 龍也 委員 朝倉 怜子 委員 木下 誠司 委員 太田 宣男 委員
傍聴人	5名
内 容	<ol style="list-style-type: none"> 1 委員長挨拶 2 委員会での検討事項について <ul style="list-style-type: none"> ・第1回ワークショップまとめ ・平成28年度～第1回ワークショップにおける意見 ・現庁舎敷地等の活用方針の検討 <ol style="list-style-type: none"> (1)活用の基本的な考え方の整理について (2)活用の基本的な考え方の整理のイメージについて (3)その他 3 その他 <ul style="list-style-type: none"> ・第2回ワークショップの開催について

事務局	高橋、小森、平墳、西脇、西村
コンサル	佐々木、柴田、長谷川 (マネジメント・アドバイザー)

事務局	<p>皆様、こんにちは。定刻となりましたので、只今から第2回垂井町現庁舎敷地等活用のあり方検討委員会を始めさせていただきます。本日はお忙しい中お集まり頂きまして、誠にありがとうございます。</p> <p>～本日の資料確認～</p> <p>それでは早速進めさせていただきます。はじめに、委員長であります竹内先生よりご挨拶を頂きます。よろしくお願い致します。</p>
委員長	皆様、改めましてこんにちは。委員長を務めさせていただいておりま

	<p>す岐阜経済大学の竹内でございます。この連休もどんなお天気か少し心配ですが、お忙しい中ありがとうございます。今回は第2回目ということでして、前回ワークショップを行いました。委員の皆様も何人もご出席頂いて、たくさんご意見を頂戴したというところでございます。そういった意見につきましては、まとめて頂いたものを今日ご報告頂いて、それを一つの参考として、前回の会議から引き継いできた論点というものについて、何となくぼんやりと方向性を決めつつもう一度ワークショップを行って頂いて、その次の会議の所ではある程度のまとめを、というそういう流れで進んでいければと考えております。なかなか分かりにくい所ではありますが、基本構想ということですので、あまり具体的な事についてはせずに、まだ踏み込んで決めるということではございませんので、基本構想ということですのでこの2回の中である枠まで考えていければと思います。その準備段階の時ということだと思います、そういった形で今日ご意見を頂戴し、イメージを共有できていければと思いますので宜しくお願い致します。</p>
事務局	<p>どうもありがとうございます。</p> <p>本日はお手元の次第にありますように、検討事項、次回のワークショップの開催についてご意見を頂くことになっております。これよりの進行につきましては、当委員会あり方検討委員会設置要綱第5条に基づきまして、委員長であります竹内先生に宜しくお願い致します。どうぞ宜しくお願い致します。</p>
委員長	<p>それでは次第にあります通りにやらせて頂きます。よろしくお願い致します。それではポツが3つございますけれども、第1回ワークショップのまとめとワークショップにおける意見というのは、一段落でご説明頂く感じでしょうか。現庁舎敷地等の活用方針の検討（別紙3）まで、検討事項については一まとめでご説明頂くということで、ご説明お願い致します。</p>
コンサル	<p>資料説明（略）</p>
委員長	<p>ありがとうございます。やはり3つめの現庁舎敷地等の活用方針の検討の所まで一気にいくと、委員としての置いてきぼり感は若干感じられてしまうので、むしろワークショップの所で一度止めてその理解を前提に、こうまとめられたという所で改めて議論させて頂いた方がいいのかなと。今かなり具体的に提案までお話し頂いたけれども、そこまで決まっちゃっているのですか、という感じの雰囲気は委員の皆さんはとれたのではないかなと思いますので、まずワークショップの確認を、このようなご意見があったという所を、そしてそれらをフォーカスして頂いたという所かなと思いますが、これについてご質問等ございますでしょうか。</p>
委員	<p>ワークショップへ参加した一人なのですが、委員のメンバーの中で委員長除いて4人だったと思うのですが、先程誰かも言われたように年齢層が高いと、ワークショップのほとんどだったという事と、もう一</p>

	<p>つは女性が一人だったということですね。ですから、ここの中に反映されているワークショップの部分に反映されている意見は、年配の方と男性の方の意見だというような印象はどうしても拭えない、という風に思います。それともう一つ私の意見ですが、防災関連施設という所が、いくつかグループがあった中の3つぐらいがトップにあげた記憶があるのですが、確かに防災施設は必要ですが、普段は防災施設は使わないので先程まとめられたような方法なら方法で、観光とか色々な施設を使いながら、一方で防災に成り立つように作れば良いのではないかなと、私の個人的な意見でございます。前から言いましたように、どうしても年配と男性が圧倒的な意見だったので、その辺はもう少し配慮して頂ければと思います。</p>
委員長	<p>ありがとうございました。私もワークショップのメンバーが偏っているのではないかと、いう事でワークショップにご出席の方からそういった意見が出たという事です。それでやはりもう少し多様な年齢層から意見をお伺いしたいという事で、今日もあとの所でそういった資料にさせて頂いているという事です。それから今ご説明ありました通り、意見は多様に分かれているようだったのですが、一つに絞って下さいという話があった所で、そこで多数決の原理が働いたのか、どのグループでもかなり上のほうに防災が来たという事で、防災中心になっているのですが、防災一本の議論ではなかったですね。ただ集約すると、一つ選びなさいと言うと、一番大切なのは防災というそういうようなまとめ方だったのかなと。それはそれで受け止めなければならないという所なのかなと思いました。</p>
委員	<p>私も先日出席させて頂きましたが、というよりも今先程ありました出席者の年齢層がお年寄り、男性、世の中は、今は女性の方が多くなる。高齢者も女性のほうが多くなる。やはり女性の意見を取り入れていかなければいけないと思います。そういう意味では当然若い方も入ってもらわなければいけない。入って頂いて新たに作り上げていかないとこれが一人歩きしちゃう。その辺はお願いしたいと思っております。もう一点は、私も防災につきましてやはりあそこは庁舎が移転してしまうと、あの周辺が人の集まれる場所が無くなって寂れてくる。商店街に人が来ないと更に寂れてくる。あそこはにぎわいを戻さなければいけない。そういうものを作っていかなければいけないのではないかと。防災につきましては、今は垂井町色々な公園があります。ところが子供は誰一人遊んでいません。もう雑草が生えています。だからそういう地区に、防災設備（備蓄）を考えたほうが良いのではないかと。やはりあそこは毎日人が集まる場所、そういうスペースとして考えていかなければいけないのかなと思います。</p>
委員長	<p>ありがとうございます。今防災についてご意見頂きましたが、それについては次の所でもう少し深めたいと思います。ワークショップという事に関してという所で他にご発言ございますでしょうか。</p> <p>私からお伺いしたいのですが、別紙2の所で過去のものとしてワークショップのもので数を合計されているのですが、ワークショップのポイント</p>

	トと過去のものポイントが同じ扱いで良いということなのでしょうか。これでこの合計の順番で右に整理されている訳ですけれども、数のカウントをどのようにされたのかちょっと私は存じ上げないです。
コンサル	過去の意見というのはですね、今までのがやがや会議での意見とか、町役場に直接意見が来たものとかを整理したものということでございます。ワークショップは先程の流れなのですが、それを並列にして良いかというのは色々な見方があるので、そういった事も可能でしょうし、あとはパーセントでやるとか、あくまでも今までの意見を12分類にするとこうしたという、整理しただけと捉えて頂ければと思います。
委員長	気になっているのが、順位付けのところですね。過去のほうで126ポイント割り振られている。それからワークショップの方で82ポイントが割り振られている。これで合計で208ポイントが割り振られて、順位1から5までが多いですよとそういうご説明になっていました。確かに1から5までの所が多いのは良いとして、1番から5番までの順位というのはこの足し算の結果を尊重して評価すべきものなのか、それともこれはそれほど順位を意識する必要がないということなのか、この整理だと私共としてはこの順位を意識せざるを得ないですよ。ですからこの数字というのは、本当に意味ある数字ですかという事をお伺いしているところですね。
事務局	今回のこの過去のもの126の意見があったという事は、実は現庁舎敷地等につきましては平成28年度からがやがや会議をやるような形で2年間10回開催しておりました。また一般のご意見も頂くということで公募等で意見を収集して参りました。そのような意見が126あるということです。これはあくまでも現庁舎敷地等の活用の意見として頂いているものも、過去の意見として収容させて頂いたということです。それと今回ワークショップでこの跡地活用の意見を頂いたものを単純に合計させて頂いたという事でございます。それをどう一番方向性として集約していくのかという検討の中で、やはりまずは一番意見を結果として集計してはどうかということで、今回提示させて頂いているものが別紙2ということでございます。単純に票数が多かったということで資料とさせて頂いております。
委員長	結局、雑に見るといいますか、あまり細かい数字の差はそれほど気にしないで、大きくたくさん意見があったグループ、それほどなかったグループ、全然ないグループ、くらいに大きく見たらいいと思うのです。こうまとめて頂きますと綺麗に数字で順位が出てしまうので、何かそ

	<p>れをととても気にしなければいけない気にどうしてもなってしまうのですが、あまり背景や集計方法もそれほど根拠のあるものでもなさそうなので、例えば今までの意見の方は1人で何票でも入れれそうな気がするのですね。だからあまりこの数字を気にする必要はない。ただそれでもやはりたくさん声があったものと、あまりなかったものとは自ずとあるので、その程度に意識して頂ければ良いという風に受け止めさせて頂くという事でよろしいでしょうか。皆様もそういう形でご覧頂ければと思います。この数字を絶対的な形にはしないという事です。その上で次のところ別紙3の整理なのですが、これはこれですごく綺麗に整理されているのですが、これをお伺いしながら疑問に思ったのは、別紙2の所で、数字で並べているのですが、別紙3の所の1からの順番というのは関係がないのですね。この1からの順番はどういう所でなっているのかなという所について教えて頂けないでしょうか。</p>
事務局	<p>別紙3のまずA3版の整理の仕方としましては、まず一番左の現庁舎敷地等活用の方向性、前回のあり方検討委員会の方でご議論頂いて方向性を決めて頂いたものを、まず順番に1から12項目を前回のあり方検討委員会の資料に基づいて並べさせて頂きました。その12項目の中で検討して整備の方向性について、また整備内容のイメージについて、また第1回ワークショップ課題認識と活用の考え方の整理という事で、このそれぞれ1から12の項目に入れて意見として並列をさせて頂いたという事でございます。この一番右、今委員長がおっしゃられた順番が関係ないとの事ですが、単純に1から12の中で一つ一つ考えるとこういうような事が考えられますよねという事で、この列の中で示させて頂いた整理の仕方です。別紙3の次のページのA4版で示させて頂いたのが、現庁舎敷地等の活用方針の検討という事で、白抜きの1から4の番号につきましては先程お話しがあった別紙2のある程度順位付けに基づいて並べ替えをさせて頂いたという形で整理をさせて頂いておりますので、大変分かりにくくて申し訳ありませんが、一応A4版の白抜きの番号の方で意見数が多かった順に整理をさせて頂いたという事ですので、宜しくお願い致します。</p>
委員長	<p>白抜きの方は多い順をある程度意識されているという事ですね。現庁舎敷地等の活用方針の検討ですね。ですから、途中段階では前回の資料の順番をお使いになってグループをまとめられて、それを今回のある程度投票数みたいなものの順番で整理されたものが現庁舎敷地等</p>

	<p>の活用方針の検討の1から4の順番になっていると、そういう理解ですね。ある程度この順番というのは、今のところ声の多い順に並んでいるという事ですね。もうちょっと質問させて下さい。これは第1回ワークショップから若い世代の集合住宅という事で、若者や子育て世代を中心とした住宅の確保というのが混合してきます。住宅確保というのは私も賛成なのでそれはぜひと思う所なのですが、この資料のまとめで良いのですか、という所がちょっと疑問でして、前から普通に見ていくと住宅確保と読み込めますかというのがあって、私は賛成なので、可能なら住宅の確保という所を持って行って頂きたいと思うので、そうするとこの並びというのが本当にしっかり読めるのかという所が少し不安に感じる部分があるのですがいかがでしょうか。大丈夫でしょうか。別紙3の所で住宅の確保とまとめられているのですが、どちらかと言うとご意見が、若者が集う場所の方が多いのですね。若者が集う場所というのを住宅の確保という風にまとめて読み替えられている感じがあるので、それはそれで大丈夫ですかという事です。</p>
事務局	<p>①の「若年層の定住意識を高めるまちの魅力化」という所の方向性の中で、過去の意見でございますが整備の方向性としては住宅地としての可能性を考えるというようなご意見、また整備内容のイメージについてこの跡地に高層マンションを作ったらどうかというような具体的なお意見も頂いております。またワークショップの段階では、やはり東海道線垂井駅が近く通勤に便利ということから、住宅を建ててはどうかというような意見がございましたし、若い世代が入りやすい集合住宅にしてはどうか、子育て世代へ支援付きの集合住宅とか、このようなご意見を頂いております。それに基づいて今回住宅の確保ということで整理させて頂いておりますが、住宅の確保につきましては色々な考え方があると思っております。これからの人口の減少を踏まえて定住促進を図るという観点ですとか、ここに住んでみえる方の居住の場の確保とか、色々な方向性の考え方があると思いますが、そういうのはまだ具体的にどのような形が良いという所まではイメージ出来ていない所がございますが、やはり意見として多かったという所で一応住宅をこの跡地の中で全てという訳ではないと思うのですが、この跡地を使つての住宅確保はどうかというような事で方向性の一つとして整理させて頂いております。</p>
委員長	<p>結構最終的なまとめ自体で全容もないしその方法でという事ですが、それで良いのですかとになって反対が出たときに、こういう根拠だとい</p>

	<p>うことをしっかりしておいて頂きたいという事で、今日の所ではパーツと資料に目を通した限りでは、にぎわいの創出の話が、住宅の話にいつの間にかいっているような風に読めてしまうので、ワークショップだけでなく、今までの意見の中にもそういう意見があったという事をもう少ししっかり表現して頂いて、どなたがご覧になってもなるほどこうなっているんだとよく分かる資料として整理して頂ければと思います。</p>
事務局	<p>さまざまな意見が出た中で、住宅を建てるという意見と他の意見とのもっとも大きな違いは何かと言いますと、住宅は個人の資金的な扱い方になってきますし、その他色々な意見が出ておりますけども、他のものはどちらかと言うと共通の財産としての使い方になってきます。ここで基本的な所で、先程、委員の方からもお話しがあった、ここはにぎわいの場となったところでそこを維持する必要があるというご意見を頂きましたけれども、こういう意見は他の委員やワークショップからもいくつかあった所です。これは個人の資産となる住宅になってしまうと、それが果たしてという所もありますので、意見が出なくても事実ですので、例えば周辺の土地に住宅が張り付くような呼び水になるような施設にするですとか、そういうような考え方も出来ますので、意見が出たことを尊重しながら進めていきたいと思っておりますので宜しくお願い致します。</p>
委員長	<p>現実問題、住宅が呼び水というのはすでに駅の近くという所がございますので、個人の資金的な住宅として分譲するというよりは、どちらかというところ集合住宅のようなものがイメージとしてあるのかなと。今私が申し上げたかったのは単純に、資料の整理の仕方としてこれによろしいでしょうかという事だけですので、それ以上の意味はございませんので資料の確認ということで、ご意見ございましたらどうぞ。</p>
委員	<p>住宅を確保するという事で、がやがや会議の中でそういった意見が出たことも覚えてはいるのですが、このまとめに関して事務局もおっしゃられたように、その個人的な資産に変わるという所は大きな間違いが起きてくるような気がします。住宅の確保においてこの土地を住宅の確保に回すというよりは、想像としてですね、ここを住宅の確保にまわすという事は、何らかの形で町営住宅ですとか公共のアパートですとか、そういったものになってくるかと思っておりますけれども、せつかく町には町営住宅、他の所にあるものをもう少し活用すれば良いのかなとか、色々そういった複合的なものが出てくるので、そのまと</p>

	<p>めに関して「若年層の定住意識を高めるまちの魅力化」と「子育て環境の充実」から、いきなり高層マンションの何だという形になって、それが若者の、子育て世代の住宅の確保という所へ飛躍して飛んでいるような気がしたので、これはちょっとまとめ方に無理があるのかなという風に考えております。同じく、ちょっと飛躍するのですが、その下の「空き家等を活用した賑わい創出施設の確保」ということで、「(現庁舎敷地等の周囲の空き家活用)」ということでこれも必要なのですが、現庁舎敷地等の活用の基本的な考え方の整理という形になると、ちょっと飛躍してきてしまうのかなという想いがあって、それに付随して住宅の確保の方はあまりにも飛躍しすぎかなという風に感じました。</p>
<p>委員長</p>	<p>飛躍というか冒頭で私も申し上げた通り、やはりここまでポンポンンとご説明されて、何となく私としては置いてきぼり感があり、こういう風にまとめましたと聞こえてしまうので、飛躍というのはそういう事かなと思います。またワークショップをもう一回重ねて、もう一度議論していく中で理解の深度が深まっていったら、なるほどそういう事かとなり違和感無く受け入れられる部分があると思います。ですから、今日はこういうご提案があるにはあるのですが半分見ない感じで、こうまとめられて何となくこういう感じかなと、でもちょっと違うなという、そういう感じたところをぶつけ合って頂ければいいのかなという所です。資料の確認については以上とさせて頂いて、まとめられています1から4の順番である程度価値観を置いていって、そして円が3つ重なった図になりますよというご提案です。こういったものについてのご意見やご感想は今の段階ですでにいくつか出てきておりますけれども、例えば防災というのは防災の時は空地にしてしまっているのか、それで年中使うわけではないのもうちょっと共用型で色々考えてほしい、それが意見として偏っているので女性の声も聞いて欲しい、そういうご意見が今出ているところでございます。他にぜひこのまとめ方、こういう風にまとまってきたのですが、ご意見、ご感想で良いと思いますので、おっしゃって頂ければと思いますがいかがでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>私の感想なのですが、この別紙3の一番最後に丸3つが書いてあって真ん中に「多目的に利用できる広場」とその周りに3つ「施設の共用」とあるのですが、施設というのが何を示しているのか少し疑問で、箱物を一つ作れば良いのか、そんなイメージが出てきてしまうのです。その前のところの、「垂井の歴史・文化を体感できるおまつり広場と観光サービス施設の確保」それからこの辺を読み解いていくと、施設の共用という風に考えると何となく箱物を作った方がいいのではないかと、そういう風に読み解けてしまいます。これは私の考えなのですが、何と言うか、段階を踏んで考えていかなければ、広場があってその横に箱物が出来てというような、そういったイメージを思わせ</p>

	<p>るようなまとめになっているので、これで良いのかなとちょっと考えました。</p>
委員長	<p>これはコンサルさんにお答え頂くとなかなか辛いと思いますので、僕は違うイメージを持ちました。どちらかと言うと広場を作るという解釈をして、それで建物の方はすごく簡易な、委員は箱物とおっしゃるとすごく大きな建物の完成イメージですよね。僕はこのご説明を今読んだり、拝聴している限りでは、広場中心で比較的簡易な施設があってそれを共用しましょう、そういうイメージで捉えました。同じものでも理解というのは意外と幅があるのかなという感じもしますので、皆様本当に何でもどれが正しいということではなくて感想を寄せ合っていて頂いて、それをまたヒントにさせて頂くということの良いと思います。ぜひ思われるところをおっしゃって頂ければと思います。</p>
委員	<p>前回の会議の時の資料で、現庁舎の敷地として考える際の課題とありましたよね。これを見ますと「周辺の道路が狭くてアクセスがしにくい」、それから「大型車両の進入が難しい」というような事が出ておりました。箱物にしても、広場で何かイベントや賑わいのものをやるにしても、そういうような現状の問題点はどこまで改善出来るのかという、この辺のことはどうなのでしょう。色々と疑問に思うのですが、例えば周辺の道路を拡張するために家に移転してもらおうとか、そういう所まで考えておられるのか、今のままでやるとすると大変交通のアクセスが問題になってくるといような事を危惧しております。</p>
委員長	<p>現段階でお答え頂くのは難しいと思いますが、そういうご意見があったという事で進めていかないと、今明確にお答えするのは無理だと思いますので、ご意見としては、この土地の課題として周辺の方の家に組み入っている、そういう所に賑わいを創出といっても限界があって、その課題についてはどう考えているのですか、これを進めた時にその課題をクリア出来ますか、という懸念が広がっているというところに留めて頂きたいと思います。今日のところでの回答は無く、それを踏まえた案をまとめていくという事でお願いしたいと思います。ぜひ地元の方だったり、お母さんだったり、多様な意見をとしたいと思いますので奮ってご発言をお願い致します。</p>
委員	<p>よろしくお願ひ致します。私は役場のすぐ近くに住んでおりますので、防災の拠点というお話しがよく出ていますけれども、実際この庁舎移転の問題で一番初めにあがったのが、ここに大型車が進入出来ないという事で、防災の拠点となる役所にそれはというお話しから庁舎移転のお話しがあって、古い庁舎はここに残るとい事なので、何かあった場合に、災害の時にとりあえずここに集合する場には出来るとは思うのですが、先程意見にありました通り、大型車がここには侵入出来ないという事で、その防災の拠点としては庁舎の今の形がダメじゃないかという事で、庁舎移転の問題や年数が経っておるとい事で、元々庁舎移転の話が色々浮上したといかありましたので、私としては委員もおっしゃいましたけど、何とかここを皆さんが集えるという</p>

	<p>か賑わいの場所を、垂井町のこの旧垂井が賑わいが無くならないように、何らかの形で箱物という言葉もありましたが、何らかの施設を建てられて皆さんが集えるとか、観光客の方が寄れるとか、何か小さな物でも建てられて皆様が集えるコミュニティセンターのような物でもよろしいですし、そういうような物を建てて何とか賑わいを確保できないかなと思っております、以上です。</p>
委員長	<p>ありがとうございました。そういった意見ということでご記録頂いて、他にぜひ皆様いかがでしょうか。</p>
委員	<p>議論を進めるためのイメージとなるようなものが、たまたまちょうど私が一つ持っております、昨年10月にまさかこういう委員になるとは思っていなかったのですが、滋賀県守山市に行ってみて、あそこは地元のお祭りに関してそんなに多くはないがお金を支援して施設を作られたという事で、それがちょうど議論のイメージに比較的沿うのではないかなと思ひまして、あまり早く出してしまうとそれに誘導してしまうのでどうかと思ひつつも、ちょっと参考に資料がありますので、その時に守山市長とその施設の代表の方にお話しを聞いてまとめたものがありますので、お配りしたいのですがよろしいでしょうか。配っている間に、私は観光協会の理事としてここにきておりますけれども、垂井の曳やま祭りの祭典委員長を勤めさせて頂いておりますので、よく祭りをやっている人達には祭り会館とか曳やま会館とかって言うのですが、具体的に何もしていないというのが現実で、たまたまここに行きましたら、まず自治会が法人格を持っているという事で、自治会の会員の会費と営利事業で成り立っているという事でした。建設費は1億9200万円、総事業費は2億3600万円で、経済産業省のまちなか商業活性化支援事業費補助金と中小企業基盤整備機構近畿本部の助成金をもらって、自治体の運用費用は随分少なく済んでいるのではないかなと。自治会の施設でありながら、同時に毎年1月に開かれる勝部神社の火まつりの為の施設でもあるという事で、出来たばかりの施設だと教えて頂きました。滋賀県の例から見ればこの跡地は狭いところにはなりますけれども、広場があつてそれを取り囲むような形で施設があり事務所があつて、あとは自由に使える。結婚式場にも使おうと思えば出来ますし、そういうような形で集うことが出来るというような施設が出来ておりました。そこに書いてありますように、貸し館と昼間はカフェ、予約が入れば宴会や歓送迎会や法要なども出来るということで、「株式会社みらいもりやま21」が実際運営をしているというようなものがございました。そこにも書いておきましたが、守山は大阪京都の通勤圏としては端の方ですが、非常に人口が増えている。最後に守山小学校が非常に児童のレベルが高くて人気がある小学校だそうで、それは初めて知りましたが、その小学校に通わせるためにわざわざ居住をしたという住民も多いということで、先程のように2500の世帯数で5000人もいる自治会は非常に珍しいので、そこは垂井の参考にはならないと思ひますけれども、何らかの形でこのような施設を作ると言うのが、適当な助成金をまず探せば負担も少なく出来るのではないかなという事で、これを作りたいと</p>

	<p>いうために今日意見を言うわけではないですけど、イメージとしてはこんなのが出来ると垂井として良いのかなという形でご紹介させて頂いたという事ですが、議論が少し行き過ぎですかね。</p>
委員長	<p>いえ、今日は皆様のご意見を伺うということですから、こういうご意見があったということだと思います。現実にはこれは2億3600万円ということで、たぶん同じ規模では難しいだろうという所も想像できます。人口規模感で言うとはですね、でもイメージとしては広場があって低層階、平屋で一部2階建ての多目的な施設であるということですから、それは充分了解可能な範囲だと思います。そこに何が入ってくるかという話をしたら良いと思います。ですから一つの委員の方からの一つの提案として、これはこれで受け取って頂ければと思います。皆様ぜひご発言下さい。地元の方がいかがでしょうか。</p>
委員	<p>2つほどご意見なのですが、いわゆる防災の事についてですが、これはあくまでも垂井地区の防災のセンターに使いたいということですよ。町全体の防災の拠点ということではないですよ。</p>
委員長	<p>たぶんそういう事じゃないかと思います。いかがですか。</p>
事務局	<p>防災拠点と言いましても色々な拠点がございまして、復旧作業のときも同じとか、手続きをやり続けるとか、避難だけをする拠点とかですね、色々あるのですけれども、先程もどなたかがおっしゃいましたように、町が本格的にここで支援をしていくような拠点というよりは、防災に対して何らかの障害があるという事で庁舎移転となった経緯があります。そういうのも考慮して考えていきますと、どちらかという周辺住民の方が一時避難するというようなイメージかなと、今の段階では思っておりますけれども、今後様々なご意見を伺いながら方向性を決めさせて頂きたいと考えておりますのでよろしくお願い致します。</p>
委員	<p>そうするといわゆる言葉は悪いですが、物置きの性分になってしまうような気がしてしまうので、特に垂井地区の防災の避難所というか、これをうたってしまうと先程も話があったように、例えば中に大型トラックが入るのかとか色々問題があるので、僕は逆にお役所の立場の見方をする訳ではないけれども、その辺から崩してこないことには問題が多いのではないかなと。施工図とかそこまでは考えなくても良いけれども、それを踏まえてそういう風にうたってくると、問題が多いのではないかなと思います。それはそれで良いがもう一点、若年層や若者のことを言うのは結構な事なのですが、データの、例えば高齢者65歳以上が30%いるとか、いわゆる働き手の20代から40代ぐらいの方は40%だとか、あとは子供やと。85歳以上から100歳までの人はちょっとどうか、そういうデータがあるとは思っただけけれども、それがもっと細かく言うと垂井の駅を利用したかにどういう数字が出ているのか、例えば車で行っているのか、それもある程度やってきて街づくりの考え方を検討した方が良いのではないかな。あともう一つは、いわゆる委員の言われたこれも結構なご意見なのですが、垂井町の僕ら</p>

	<p>も商工会で来ておりますが、商工会に出して活性化するかという所が大きな問題じゃないかなと思いますので、その辺街づくりということでもっともっと垂井町は商の町ということで名が上がっているの、よそから言うと垂井町何をやっているのかという事になる。何をやっているって、中山道で祭りをやっているという、あれは祭りではない、賑やかしと言われることがあるので、その辺の事も町も全体的に考えながら、街づくりを高評価する意味において場所を利用すると。やはり核にしてやるというそういう考え方でいったら、もっと夢ある街づくりが出来るのではないかと僕は思います。以上です。</p>
委員長	<p>恐らく三点、一点目の所が防災拠点とした場合に周りが狭隘なので大規模な防災拠点は出来ないのではないかと、という所が一つ。それから人口の構成であるとか垂井駅の利用の状況であるとかそういった部分を把握していかないと、若者の賑わいの創出・住宅というストーリーが本当に成立するのか、もう少ししっかり検証して下さい。それから全体の賑わいの創出、商工会の部分についてどうのお考えか、それについての資料がもう少し欲しいですというその三点かだと思いますので、次回の時には加えて頂きたいと思います。他にご意見ございますでしょうか。</p>
委員	<p>この地区をどのように賑わいを持たせるか、どのような施設で集まりの場とするかということ、二つあると思うのですが、一つは観光客をどれだけ集められるかということです。私は長浜出身ですが地元の人に聞くと、黒壁を作ったとき、最初は建物に興味を持たれ多くの観光客が来た。さらに秀吉関連の大河ドラマが流行り観光客がボンボン来た。しかし、ブームが去ると観光客は減ったが、次は三姉妹がきて、また増え年間200万人の観光客が来てお金を落としてくれるというのが実態です。では、垂井にそれだけの観光客が果たして来てくれるのか。当然、宣伝しなければいけない。今、関ヶ原がどんどん増えていますよね。そのあたりの戦略ややり方が良いのかわかりませんが変動する観光客相手に賑わいを持たせるには、別に考えなくてはいけません。もう一点は、今地元におられる人たちが集まってこられる場所として、今の福祉会館は狭くて広いホールもないし建物はガタガタ。また、まちづくりセンターも雨漏りがするしガタガタです。商工会議所もありますがああいう機能、中央公民館もどうなっているか分からないけども、今ある停滞している老朽化しているものをあそこに取り込むと、今使っている人達があそこに集中して来られます。中身は商工会議所に頑張ってもらって、産業支援センターにするとか、予算が下りて産業支援に力を入れるとか、そういう事にしてあそこをその地区を、皆が集まっていることが出来るというようなものに。そこで箱物を作るのか、そんなに箱物は要らないのか、それは後々の検討で良いと思います。機能をどのように使っていくかということの方向付けをするべきではないかなと思います。</p>
委員長	<p>ありがとうございます。まず交流人口の部分ですね。黒壁のお話しもございましたけれども、あれは作るにあたってはだいぶ国側から始まって、だいぶそういった土地での誘客もかなりという事で、交流人口</p>

	<p>になっておりますが、あえていうと関ヶ原ですけれども客観的に言って、垂井町の垂井地区というところでの交流人口・観光客というか、バスの方、鉄道の方、どれぐらいの交流人口があるか客観的な数字というものが一つの前提、何か施設を作ったらお客さんが来ますかというとなかなかそれが難しい、という事で少しそれを検証する必要があるのかなと。資料のまとめ方として今日はワークショップとこれまでのがやがや会議でのご意見はこうでした、これでまとめていってという事ですけれども、そういう事とは別にやはり客観的に、先程ございました垂井駅の利用状況がどうなのですかとかそういうお話しで、そういう数字からそれは無理ですよとか、それはいけますよって事があると思うので、次回の資料の中ではそういう検証可能なデータを少しお示し頂いた方が良いのかなと。ざっくりと垂井駅周りの人口、いわゆる観光客・呼び込み客数というものが、主要な施設でどれぐらいあって、消費額としてどれぐらいあるのか、どれぐらいの施設というのがやっていけそうなのかというの、町のほうでまとめて頂いて、だから、という所があって良いのかなと思います。二点目は、集約施設の機能という関係でいくつかあると思います。この点については、お役所の方はなるべく自分達のご意見を出さない、町民の方のご意見ですよとおっしゃって頂いているようなのですけれども、そう言われても町民の皆様としては怖いという所があるのではないかと。むしろ、町からこうしたいと意見を言って頂いた方が、それに対してリアクションする方が、情報量が役所の方が多はずですから、役所としてはこういう施設、ここにこうやって集約したらこれぐらいの賑わいが出来ますよという提案を具体的にして頂いた方が、それならそれでいいですねとか、こういう方がいいですとか意見を言えますけど、町民の皆様決めてくださいと言われても、町民の皆様はそんな完全情報をお持ちではなく、一つ一つのある程度の情報はあっても、いくつかの施設について十分な情報はお持ちではないですから、意見をまとめてくれと言われても難しいと思います。だからそこまで勇気を持って役場として示して頂いた方が、僕は良いのではないかなと。非民主的でも何でも無い事だと思うので、それは役場の方から、たぶん今のこういう意見に対しても役場の方で色々な機能を考えて提案を求めてくださいよという事になるのではないかなという風に、今ご意見を伺って感じたところです。</p>
<p>委員</p>	<p>今の中央公民館が無くなりますと、その機能は新庁舎のほうへ行くわけでございますか。教育委員会とか事務部門は新庁舎のほうへ行くと思いますが、いわゆる生涯学習等で今使っている色々なサークルとかクラブ、この町民のための色々なことを中央公民館で行っているわけですが、それは新庁舎のほうへその機能が行くわけでございますか。もし行かないとなりますと、やはりどこかにそういう機能を、簡単な箱物になるかもしれませんが、必要ではないかと思えます。当然、まちづくり協議会としては垂井町に7地区ございます。まちづくりセンターに今はなっておりますが、前は公民館でございました。やはり今のまちづくりセンターも、従来の公民館機能を充分意識してそれぞれやっておりますので、中央としてまとめるような、そういう機能を持</p>

	<p>ったものが必要ではないかという風に私は思います。なので、まちづくりセンターへは協議会の本部機能も兼ね備えて、あるいはそれだけでは何もならないので、文化とか歴史を垂井地区センターにも一部機能はありますけれども、そういったようなもの、集客のために必要ではないかと。要は観光も含めて、多岐になるかもしれませんが、そのようなものが必要ではないかという風に私は思いました。</p>
委員長	<p>集会施設的なものが必要ということですね。先程私は言いすぎたかもしれません。あまり具体的にしてしまいますと、基本計画のほうに行ってしまうので、基本構想のところはもう少し漠然ということになると思いますけれども、ある程度、これぐらいの施設とかそういう物はイメージするという話ですね。</p> <p>ご発言されてない方の数が少なくなってきました。それぞれ順番だなど意識いただきながら進めて頂ければ幸いです。</p>
委員	<p>ちょっと思い出したのですが、前回の会議の時に取り壊すといくらぐらいかかるかとか、耐震にいくらかかるかという情報が、今回の資料には載っていないのですが、確かワークショップの時に載っていたのですよね。こちらを取り壊すのに6千万円、中央公民館を取り壊すのに4千万円、耐震に関しては中央公民館で2億円、役場で3億円かかりますよという情報を載せて頂いております。ありがとうございます。これがその取り壊したほうが良いのか、減築してでも残したほうが良いのかという議論に対して必要になってきますよねという事で、この金額の差がワークショップの中では使うという意見がほとんど出ていなかったのは、そういった事も加味されて広場だとかそういった意見になってきたのかなと思います。それと一緒に、先程、委員さんが、道の問題で大型が入って来れないのであれば、大型が入れるように土地の買収をして移転してもらってでも、大型が入れるような道づくりまで考えるのかという意見が出たと思うのですが、要はこの現状維持のままで道等を考えて、この中をどうやって活用しようかといった時には、非常に考えが少なくなってしまう。尚且つ、ここを解体するにしても大型の重機が入って来れないという話になると、本当に4千万円や6千万円で解体できるのか。それも含めて、大きな意味で道とかあまり考えずに、この敷地で、今建っていますが更地でこれだけの用地があって、じゃあこの用地をどうやって活用したら良いですかという議論のほうが、漠然としているのですが分かり易いかなと。あとはお金がどれだけ掛かるかということは考えていないのですが、今ある環境の中で、この中で何をやったら良いですかと考えたって、ちょっと基本構想が狭まってしまう気がしますので、そこら辺は町としてどのように考えているか教えて頂けますか。</p>
事務局	<p>本来でしたら事務局のほうから、このあり方検討委員会の方で現庁舎と中央公民館の整備費用について、お示しさせて頂かないといけなかったのですが申し訳ございませんでした。今説明にありました通り、ワークショップの資料の中では現庁舎の耐震改修が3億円、取り壊しをした場合は6千万円、中央公民館が耐震改修すると2億円、取り壊</p>

	<p>しだと4千万円ぐらいかかるということです。この数字はですね、平成26年度の公共施設の耐震改修等の庁舎内の検討委員会で試算させて頂いた数字でございますので、現在この数字かどうかはまた別の話にさせていただきますが、これぐらいはかかるであろうという認識をしております。それと合わせて先程ご意見があった中で、中央公民館の機能とかですね、まちづくりセンターや福祉会館、この垂井地区には5施設がございます。公共施設のあり方につきましては、今現在また別の庁舎の委員会で「公共施設等総合管理計画」に基づいて、それぞれ各施設の方向性をアクションプランという形で、取りまとめをしております。その中で議論になるのは、やはり中央公民館と庁舎については非常に耐震的にもダメですし、設備的にも古いということで、方向性としては解体という方向で今まとまっております。まだ決定ではありませんが、方向性としてはということでございます。その中の機能につきましては、まず中央公民館については先程、委員からもあった通り、色々な、一部の機能については新庁舎のほうで対応を取る形で貸出施設などを考えておりますし、また集会施設的な簡易施設的な形では、新庁舎の中の1階のほうに地域協議室というような形で、一応計画をして進めております。そこで町民の方にいつ変わらなくという形で考えておりますが、ただそれでもキャパは必ずありますので、今中央公民館にある全ての機能を新庁舎で賄うことは出来ないという風に考えております。その時に機能の集約をどうすべきかという所で、やはりどこかで福祉とかまちづくりセンターとか中央公民館の機能をどこまで必要か、集約するか、分散するかという検討は今別の検討委員会の方で進めておるところでございます。それと同時にこのあり方検討委員会の中で、先程からご意見頂いているような、やはり機能を集約すべきではないかというように、検討していきたいと町のほうも考えております。その中で基本的には建物を作る。町としては中央公民館・庁舎については、解体というか使用しない方向で進めていきたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。</p>
<p>委員長</p>	<p>先程のご議論に対してのまとめとしては、中央公民館の部分については解体しますと。その機能については、それを補う部分が必要だということですから、中央公民館的な機能が必要ですよということだと思います。先程のご発言の中では、あまり予算の事を考えないで大体で良いのかという意見についてどうお答えするのか。もう一つ道が狭いという話が出ましたが、少なくともこの建物を壊すための色々な機材が入るための道幅は絶対にあると思います。国道21号のほうからグルッと回って入ってきていますが、あの道幅で絶対大丈夫です。相当な重機は入って来れるだろうと思いますので、あとは最後のここだけです。それは何とでもなると。ただ、広場を作った後の道が狭隘すぎて、防災広場として機能しないのではないかとご発言が出ておまして、それに対してのお答えをする場というのが、ここのテーマであるのかという部分が、これが微妙な所で、町の基本構想であったり都市計画のさまざまな会議等あるかと思いますが、そちらのほうの話題であって、この庁舎の跡地あり方検討委員会のテーマからはちょっと外れてしまうのかなと。ですからここでの議論として道幅を拓げろ</p>

	<p>という結論をまとめても、あなた達にそんな事は聞いていませんよと言われてしまいかねない、そういう所がちょっと懸念する所なのかなと思います。あと予算についてはあまり考えないでというのは、私個人はあまりそういうタイプではないので、お金の事はしっかり考えてとそういう教育を受けてきていますので、あまりお金の事を、羽目を外して考えるタイプではないのですが、皆様からのご意見にある程度導かれるところかなとは思っています。</p>
委員	<p>私も前回ワークショップに参加させて頂いて、皆様がおっしゃられるように、メンバーが、男性が多いという印象がパッと見て強くあったので、やはり話しあう年代が変われば、だいぶ結果が変わるのではないのかなということも感じました。あともう一つ思ったのは、防犯・防災広場とか結構多かったですが、実際必要なものというのがイコール欲しいものではないのかなということも思っていました。それでせっかく跡地を活用するのであれば、必要なものは必要なもので大事だとは思いますが、こういうものがあつたらいいよねという方を大事にしたほうが、町が活性化するのではないかなと思いました。個人的な話にはなるのですが、午前中に「パレットピアおおの」大野町にある新しく出来た道の駅の支援センターで子供と遊んできたのですが、そこは閉館日が平日の水曜日で土日は開館しています。町内にある支援センターはたぶん日曜日はお休みだと思います。なので、だいたい土日はどうするという話になり子供を支援センターへ連れていこうとなる事が多いので、そこで垂井から出ないと時間が潰せないとかお金が使えないとなってしまうのであれば、そういう土日も行ける場所が支援センターなりあれば、垂井から出ずにお金も町内で使うだろうし、そういう場所があるといいのかなと私は思いました。あと賑わいとおっしゃられていると思いますが、賑わえばそれで良いかという、たぶん周りに住んでいる皆様とかあまり賑わいすぎてうるさくなるのも望んでいないと思いますし、あくまでも住むのに居心地が良かったり、あとは防犯、あまり夜遅くまで集うとかそういう事も望んでいないと思うので、この変えたい部分と変えたくない部分というのを、イメージすることが大事なのかなという風に私は思いました。以上です。</p>
委員長	<p>ありがとうございます。たぶんまとめる必要はないと思います。まとまっていたのでそのまま受け取って頂ければと思います。あとお二人ですが、いかがでしょうか。</p>
委員	<p>中央公民館のことも含めて検討しているとの事だったのですが、一点ケーブルテレビの方からお願いされたので発言するのですが、中央公民館に愛着を持っている方がみえて、ポケットマネーで改修というか耐震工事の予算を出されたそうなのです。その金額が5千万円でした。でも町からの資料を見ると、約2億円となっているのでこの差は何なのかなという事と、私が言いたいことは委員長さんが言ってくれたのですが、町として何も考えていない訳ではないと思います。やっぱり何かを考えているのであれば、開示してくれないと検討自体が無駄になってしまうので、ある程度開示して欲しい。今日ビックリしたの</p>

	<p>ですが、第1回の際はがやがや会議がありましたという事ぐらいの報告だったのですが、今回数字で上がってきて実際順位も参考資料にまでなっています。そこで委員長さんに質問なのですが、がやがや会議の今までの資料はご覧になったことはありますか。</p>
委員長	<p>そんなに細かくはないです。</p>
委員	<p>ではまたぜひ一度お願いします。あと個人的な意見ですが、観光ですと水の問題や錆びれたり黒カビの問題で何店舗か閉まっている所も多いので、そう思うとやはり住宅が良いのかなと思います。この資料にどこにも意見がないのに急にイメージについて高層マンションとなっていたので、ここはたぶん誰かの意見が入っているのか町の意見か分からないですけども飛躍が謎だったのと、あと個人的な意見でいえば、第1回はやりましたが、例えば1回目は高齢者向けで2回目は若者向けにすれば、自然なカウントが生まれるのかなと思います。以上です。</p>
委員	<p>まち協の利用者がすごく多いのですね。まち協になったからか分かりませんが、いわゆる旧公民館に物凄く人が集っている。でも地元の人です。よその人はいません。中央公民館にも、たぶん車が運転出来るような人だったら、多く利用されるのかもしれませんが、もうこれからお年寄りが、高齢者が増えてきますから、もうまち協です。まち協にどれぐらいの集客があるかは、これはすぐに出ると思いますけれども、まち協は雨漏りするとおっしゃいましたけれども、順次それは修理して頂けるとは思いますが、近くの方がまず利用されます。それからたくさんの方に集まってもらえれば活性化、まだこんな事もやっているよという事で、色々なプログラムを秘めているようです。活性ということ考えた場合に、この土地に何人ぐらいの方がこの跡地を利用するのか。例えば、住宅であれば何人、防災センターになった時はこのぐらい、人数で見ると効率的な使い方が見えるかもしれませんが。観光についても、皆さんも我々もそうですけれども、ここに生まれて育ったものは大事にしております。最も子育て世代へ伝えていきたいものです。新しいものを作って集客することは大変なことだろうなど。実際立ち上げて、さほどという事も多く聞いておりますので、それも慎重に考えて、住宅と考えればイメージ作りのカウントをするにはし易いのではないかなと。以上です。</p>
委員長	<p>ありがとうございました。皆様からのご意見を頂戴致しました。</p>
委員	<p>観光協会から来ていますので観光のことを言いますと、駅前の観光案内所にはデータがちゃんとありますので、駅から中山道沿いに入ってくる人に関しては、正確ではありませんが土日の利用者のデータがありますので、それは参考になるのではないかなと思います。それから祭りになかなかお客さんが少ないというような話も出ておまして、確か記憶が間違っていなければ垂井祭りに来るお客さんは1万5千人ぐらいだったと思います。今年私どものほうで、垂井祭りのカラー写真の写真集を作りまして、それを私は忙しくて大変だったので、う</p>

	<p>ちの観光協会の副会長に観光団体の東京商談会とか大阪商談会とか、それ以外にも代表的な大きな所はほぼ全部まわって頂いて、何でこんな素晴らしい祭りがあるのという事で、来年から企画を取るからうちの会社で席を確保して欲しいという依頼が現在来ておまして、それをどうやって整理して観光客をどう誘致するかというのを、受け入れ側の体制を今取らなきゃいけないような風になりつつあるので、私の感触では数年の間に観光客を倍に出来るし、倍にしなきゃいけないだろうという風に思っております。観光協会の役目としてはそれであろうと思いますし、私は祭典委員長ですので、すでに祭りに関わらずに観光客に案内をする人間を祭典委員の中に作りました。そういう形で対応できるようにしていきたいという風に思っておりますので、出来るだけ賑わいが、この跡地がどうなるかの頃には、たくさん人が来るようにぜひしたいと思っております。この委員会が範疇から飛び出す話を少しさせて頂きますと、町はハード面で町の施設を色々と検討されているという事ですけども、もう少しソフト面でも検討して欲しいなという想いがあるのですね。その中で、「タルイピアセンター」というのがあって、あそこは歴史民俗資料館と図書館との複合施設なのですね。ところが歴史民俗資料館としては、通常は展示室の倍のスペースで資料室が必要なのですよ。ところがほぼ同じ展示室と同じスペースの資料室しかないですよ。僕としては、民俗資料館として適していない建物だなと思っておるのですが、まだまだ大丈夫ですと何とか物も入りますとおっしゃるのですが、中に入れば垂井祭りの重要文化財にあたるような物が床に置いたままなのですね。もし相川が溢れて水が流れてきたら、全部パーになっちゃうよという、そんなような保管をされているので、私は夜も眠れないぐらい心配なのですが。図書館はですね、時々年に1回や2回、欲しい人持って行って下さいという事で持ち帰れるのですが、あの中で僕も貴重な本を見つけて持ち帰りましたが、なぜこんな貴重な本が図書館から出されてしまうのか非常に残念だったのですが、そういう意味であそこはソフト面では大変なところであって、本当の僕の個人的な意見は、跡地に図書館を作って図書館を核とした街づくりというのを、個人的にはやりたいなと思っておるのですが、先程のワークショップとかがやがや会議で、図書館を核にした街づくりという話がどこにもないので、これは無理だなと。僕の個人的なのは、今ちょっと流行りなのか分かりませんが、図書館を核にした街づくりで、色々な人が来て情報を共有して、色々また発信出来るというような場を作れたらいいなという、多少個人的な話をさせて頂きました。以上です。</p>
委員長	先程の「火まつり交流館」が引っかけられますけれども。
委員	あれは元々祭りの人達のために、ああだこうだ屋台会館を作れとか言う人に具体的に提案しろという話と、早く法人化しないとダメじゃないのという資料のために作ったので、それはそれでやっていきますけれども、本当はここに作りたいのは図書館を核にした街づくりです。
委員長	分かりました。他に言い残したことございましたらどうぞ。

委員	<p>先程この庁舎を耐震工事するか撤去かという議論の中で、ここの建物は築何年ですか。法定耐用年数は60年ですよ。多少お金かけて補強した所で10年。また補修しないといけない。となると壊して、やるほうが良いのではないかと私個人的には思います。全体にここに賑わいを持たせるには、どういう機能をどういう物をイメージしていくか。それが決まればこれを使ってとかハード的な事は次の段階で良いのではないかと思います。</p>
委員	<p>先程事務局の発言の中で、検討委員会の中で庁内の会議って、各署の施設のあり方委員会でしょうか。その部分で町民のほうに中々情報が下りてこない部分があったりなんかして、子育て支援に関する部分でたぶんここに見える女性に関心を持つ部分が、垂井こども園がこども園になって、幼稚園とか保育園が今空いている状態になっている部分もあるかと思います。その部分も含めて情報公開この会議の中で検討の中に少し入れて頂くと、安心・安全なこどもの遊び場というのが、他にちょっと方向性が変わってくるのかなと思ったりもするので、そういった部分も含めて情報を提供してもらえたらいいかなと思います。以上です。</p>
委員長	<p>あまり色々な情報を、基本構想という話になっていて、基本計画の時にはどういう機能で、どのくらいの規模でという話になります。そうすると本当に具体的な数字になります。ということで、基本構想の所であまり決めたくない、具体的な数字を基に規模感とかをはっきりさせたくない感じも受けますので、たぶんそこに踏み込んだ議論は避けられるのかなと。基本構想のところでは、具体をイメージしながら構想をまとめていくというような風に今年度はなるのかなと受け止めております。皆様よろしいですか。</p> <p>基本的には、この2回とワークショップで私が一番驚いているのは、どなたも残してくれという発言がないのではないかと。たぶん一つも発言がないのではないですか。ですから、もうほぼこの2つの建物を壊すというか、解体するという事に関しては完全なコンセンサスがあるという風に理解させて頂いて、その上で跡地利用として僕は今日のまとめは、大変よく出来ていると思います。よく出来すぎてしまっていて、物凄く突っ走っているからこれ理解できないよという感じがあるのですが、実は皆様のご意見を拝聴しながら、ここに書かれていることとそんなにずれていないのではないかなという感じで受けとめていました。具体の話をするとなんかあるのですが、大きな構想という所では、多少の修正はあるかもしれませんが、言っていることはそんなに実は違わないのではないかなと。ただ、パーッと先走って向こうの方から言われたので、違うのではないかなという感じで言われていますけれども、構想という大きな話だけで言えばそんなにずれていなくて、ただ若干のズレがあるとしたら、跡地利用のあり方について、どれくらい広場で残すかというイメージが、ちょっと違うのかなと。今日お示しいただいた物は、何か大部分が広場というご提案で、皆様のご発言はもうちょっと色々な機能がある建物じゃないかなと</p>

、そういうイメージかなという風に思いました。それと中央公民館のほうについては、たぶん高層建築物というのはご発言の中にあっただけですが、どこか文字でありましたか。イメージについてというのは、これは意見要望としてということですよ。そういう声があったという事であって、そういう風にしますという事のまとめではないとご理解頂いた方が良くと思います。なのでこれは共通の展開としてそうだという事ではなくて、こういう声がありましたという事になっております。住宅という部分があってそれをどのくらい理にかなっていくのかなという事で、住宅があってもいいよねという声もあるにはあるので、それも含めてご検討という事かなと思います。最終的に裏表、2ページ分のまとめですね、こういう形になっていく訳ですけども、たぶん最初の1、2、3、4では、これはたぶんやはり修正されているので、次若い人や女性ですね、そういう形でワークショップが開催されて、次のところではある程度まとめていきたいなという風に思いますので、そこでこれはすごく先のほうに走った形でコンサルさんの方でまとめて頂いている内容になるかと思っております。この内容について、やはりここ違うよなというようなこと、例えば1番ですね。現庁舎敷地等を極力広場として多目的に活用とありますが、極力ですか。これはやっぱり言い過ぎではないのという所があるかと思っております。広場として活用するでいいよねと、それは皆さんのお声とそれほどズレていないと思っております。防災という部分については、あの時のワークショップではたまたまちょっと保守的な空気のご提案の中で、防災という守りのほうにお声が強かったのですが、右側に記載してあるほうが今日のお声としては結構ありました。それと全体のバランスとすると、どれぐらいの比重で書き込むことになるのかなというのが一つテーマになってくるのかなという風に思います。それは2と3については、同じようなところ。それから周囲の空き家等という話はどこまで踏み込めるのかなと、それはまた長期のご相談ということになるのかなと思っております。この会議としてもものすごくやりにくいのは、じゃあどういう機能をどれぐらいの規模で作るという話を今年もしないで下さい、という前提でやっていますから、それを踏まえた書き方になっていって、それで例えばある程度の賑わいを創出して、いざとなったら防災でも使えるような施設もある程度作って活用したらどうですか、という風にまとめる。そのまとめた内容としては、それ何坪ぐらいですか、会議室はいくつぐらいですか、何人ぐらいがどうなのですか、と話していくと、人によって思っていることが全然違ったりするかもしれないけれども、やっぱりそれをある程度ぬらすと大体そんなものだよ、と何となく漠然とイメージする範囲の所で今年度についてはまとめるということになるのかなと思いますので、共通の理解としてまとめていけば良いのかなと。来年度のところで基本計画になるのではないのでしょうか。それは具体的に何平米、どこの施設・機能をここへ持ってきます、そうするとこれぐらいの車確保に入ってくることになり、何時から何時まで活用されます、ひよっとしたら福祉関係で使うかもしれない、商工会関係が使うかもしれない、土日に子育て支援センターとして使うかもしれない、そういった話は来年度の話としてなっていくので、そうするとひよっとしたら来年度になったら、限定

	<p>されたスペース・物に対しての取り合いという話になるかも知れない。きっと来年度はそういう感じになると思っていて、今年度はだいたい基本的には広場にしておいて、そこにある程度の機能を作られるであろうような、どれぐらいの建物を建てるのかなということ。それから住宅も、もしこの会議で進めていくとしたら、このぐらいの住宅ということなのかなという所がある。漠然としたスタート部分のコンセンサスとして良ければいいのかなと思いますので、今日のこの2枚の資料としては一つのたたき台としてご理解頂いて、今日のご発言等踏まえながらこれってどこまで重なるかな、ここがやっぱりズレているとか一つのベースとしてお考え頂いて、次回における所の一つの土台として頂ければ良いかなと思います。特にこの3つめ、円が重なったグラフは上手く表現されていると思いますので、こういった所はすぐく利用させて頂ければ良いのかなという風に私は感じましたので、そういった形でなるべく次回の所である程度成案を取りたいなと思います。このような形で議論を進めさせて頂ければと思っておりますけれども、よろしいでしょうか。領いて頂けたのでよろしいということで、そうさせて頂きたいと思っております。それでは2について終わりましたので、続いてご説明お願い致します。</p>
コンサル	資料説明（略）
委員長	<p>ワークショップについてのご説明ですが、前回は比較的定年後の方が多かったのかなという所なので、現役世代、いかに現役世代にお集まり頂くか相当大変なことだと思いますけれども、その辺をご配慮頂いて実際に働いていらっしゃる方、あと出来れば若い方で役所の方とお打合せの時には、思い切って高校生ぐらいの年齢を何とか引き出すことを学校に頼んでお願いしてみたら、ということをお話してみたのですが、現実的に中々安易ではないので、そのような形でワークショップを構えて頂くということで、ずっと途中のご発言もそうでしたが、それについてご議論はないのかなと思いますので、そういうことでよろしいでしょうか。</p>
委員	<p>前回と同じ方法というのは、第1回のワークショップの人集めはどういう方法ですか。聞いているのは、自治会とまち協を通してという話だがそういうことですか。</p>
事務局	<p>第1回目のワークショップにつきましては、各自治体と街協のほうに依頼させて頂いて、それぞれ2名ずつご参加頂いております。今回については、同じ方法でというのはワークショップの手法が、進め方が同じ方法で、集め方の手法はこれから違う方法で、またまちづくり協議会と連合自治会のほうにもお願いするかもしれませんし、その辺りについてはまた協議させて頂いて、進めさせて頂きます。手法については、前回と同じように第1回のあり方検討委員会で1から12の方向性を決めて頂いて、それを上位3つ意見が多かったものを選んで頂いた中で、それぞれの活用イメージをご議論頂いてまとめて頂くという手法で考えております。</p>

委員	<p>ということは人集めの方法はまだ決まっていないという事に聞こえたのですが、非常に心配なのですが、前回の時もどこかのまち協の人に何で若い人を連れてこなかったのか聞いたら、頼んだけど誰も出て来れなかったというような回答を聞いたので、かなり広報でやらないと若い人、若いと言っても生産年齢なので60歳ぐらいまでで良いのだけれど、かなり大変なような気がするのですけれども、もう少し具体的にこんな方法考えているとか言ってもらわないと心配です。</p>
事務局	<p>前は5、6名で5グループ集まって頂きました。今回そこまで集まるかどうか私にも不安な所はありますが、ただ色々まちづくりの中で若い世代、特に小学校とか中学校とか子育て世代の中で活躍している方もみえますので、そんな方達にもご協力頂きながら集まって頂けないかなというように考えております。</p>
委員	<p>一本釣りをするという意味ですか。</p>
事務局	<p>団体を通じて来て頂くか、その団体様に来て頂くかというのは、またちょっと議論するところもありますが、何とか先程から委員の方からもご提案頂いておりますように、前回のワークショップでもご意見頂いておりますので、何とか20代から40代ぐらいの方に集まって頂けないかなという風に考えております。</p>
副委員長	<p>確かに若い方は難しいのですが、色々な諸団体と相談させてもらって、今回第1回のワークショップほどの人数は集まらないかもしれませんが、努力はさせていただきます。</p>
委員長	<p>ターゲットの絞り方はあると思うのですよね。現役世代という所にこだわらず、生産年齢人口という言葉なので、現役世代に拘るとたぶん夜の方が良いのですよ。でも子育て支援とかの話になると、夜じゃないほうが良いと思うのですよね。絞り方のイメージというのは先に固めないで、たぶん曜日、時間が根本的に変わってくると思うのですよね。</p>
委員	<p>どちらを重視するかですよね。</p>
委員	<p>土曜日は子育て世代が部活とか運動系で親がついていかなければいけないので、絶対に出られないのではないかなと思う。</p>
委員	<p>そうすると、時間がないのですよね。</p>
事務局	<p>皆様大変ご心配頂いておりますけれども、先程からおっしゃられています通り、前回の通りにはいかないかもしれませんが、どうぞ事務局にお任せ下さいますよう、よろしくお願い致します。</p>
委員長	<p>という事ですので、お任せしましょう。他よろしいでしょうか。 そうしましたら本日の議論は終了致しますので、あとは事務局へお返し致します。</p>

事務局	<p>次回のあり方検討委員会につきましては、先程も話に出ておりました通り、ワークショップの後と考えております。そうなりますとワークショップ、昼間が良いとか夜が良いとか言う話も出ておりましたので、実は今日本当は11月17日にワークショップ開催予定という話ではあったのですが、そういう訳にはいかないという事で、また改めて年内にという事でご連絡差し上げたいと思います。年内にワークショップをやって、委員会は1月の初旬ぐらいを目安に考えておりますので、よろしくお願い致します。</p>
委員長	<p>これを持ちまして第2回あり方検討委員会を終了したいと思います。どうもありがとうございました。</p>